

台湾の中高中生と国際交流を深める

台湾台南市の中・高校生が本町を訪問

8月10日（木）～13日（日）台湾台南市の中高中生が国際交流で本町を訪れました。

自然や文化など、生活習慣の違う環境の中での交流事業を通して国際社会に対応できる人材を育成していくことを目的に、甲佐町国際交流協会が平成27年度から台南市の土城高級中学校との相互交流を実施しており、今年度は台湾から来町。本町の中高中生などと交流しました。



▲川平キャンプ場での染め物体験で交流を深める ▲甲佐神社で参拝の作法を学ぶ



▲宿泊施設でギター演奏を披露する台湾の生徒 ▲甲佐中学校を見学

台南市の中学生・高校生15人と引率の教師など総勢20人が、8月10日（木）に井戸江峡交流拠点施設「COMMON I D O E」で、本町の中高中生と対面し、交流を開始しました。甲佐町国際交流協会会長の田上浩輝教育長が歓迎のあいさつを述べ、本町を代表して上妻士郎さん（岩下一区・甲佐中3年）が「日本の歴史や文化を学びながら、楽しい3日間にしましょう」とあいさつしました。

参加者たちは、宿泊交流や川平キャンプ場で染め物を体験し、やな場や甲佐神社を見学。また、南阿蘇村でのそば打ち体験、草千里、熊本城などで日本の文化を学びつつ、生徒同士の交流を深めました。

外国に興味 がわきました

甲佐中学校3年
上妻士郎さん
(岩下一区)



海外の人と交流できる機会はなかなかないと思い、参加しました。日本語が伝わらないので簡単な英語で話したり身振りや手振りを使ったりしてコミュニケーションをとりました。今回の経験で外国に興味が変わりましたので、実際に海外へ行ってさまざまな文化に触れてみたいと思いました。

今回は台湾の皆さん を迎える側として

熊本商業高校2年
眞下一蓮さん
(下横田区)



中学1年生のときに、この事業で台湾へ行き、台湾の文化や交流を楽しみました。今回は迎える側として日本の文化を知って欲しいと思い、応募しました。前はあまり自分から話すことができませんでしたが、今回は積極的に話しかけることができました。機会があればまた台湾に行きたいです。



◀自分たちで起こした火で炊いたご飯を手に笑顔を見せる子どもたち

自然に触れて心を豊かに

1泊2日野外キャンプ「あつまれ子どもたち」



▲火おこしを行う子どもたち

■自然に親しむ野外体験

7月25日（火）～26日（水）川平キャンプ場で、野外キャンプ「あつまれ子どもたち」が開催されました。

子どもたちが1泊2日のキャンプを通じて、緑川などの自然に親しむとともに、共同生活することで団体行動の大切さを学ぶことなどを目的に甲佐町青少年健全育成町民会議（奥名克美会長）と町教育委員会が主催。町内の小・



▲木工教室で電動糸のこぎりに挑戦する子どもたち

中学生13人が参加しました。
1日目は、県立装飾古墳館の村上光治さんの指導のもと、子どもたちは、古代組紐づくりや古代火おこしなどを体験。
2日目は、甲佐町公民館自主講座「木工教室」で講師を務める森芳輝さんの指導のもと「木工教室」が行われました。子どもたちは、電動糸のこぎりを使い、動物などが描かれたオリジナルのパズルを作りました。